

# 地域の砂防情報アーカイブ

## ■昭和20年 呉市での災害状況

枕崎台風は、終戦直後の昭和20年9月に日本を襲った台風であり、枕崎に上陸したときの中心気圧は916hPa。室戸台風、伊勢湾台風と並んで昭和の三大台風のひとつに数えられている。

呉市では、18時から22時に至る4時間で降雨量113.3mmに達する未曾有の豪雨となり、大小全ての溪流が氾濫し、山腹の崩壊が相次いだ。二河川の堤防決壊をはじめ、各谷間より土石流が発生し、犠牲者1,154名、流出家屋1,162戸、家屋の半壊792戸の被害を出した。

## ■位置図



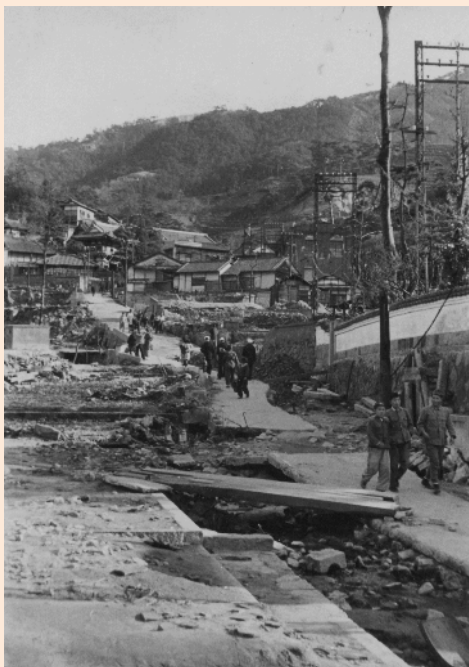
国土地理院



1. 亀山神社付近から神応院を望む



3. 水害を受けた和庄地区



2. 水害の跡の残る清水通り



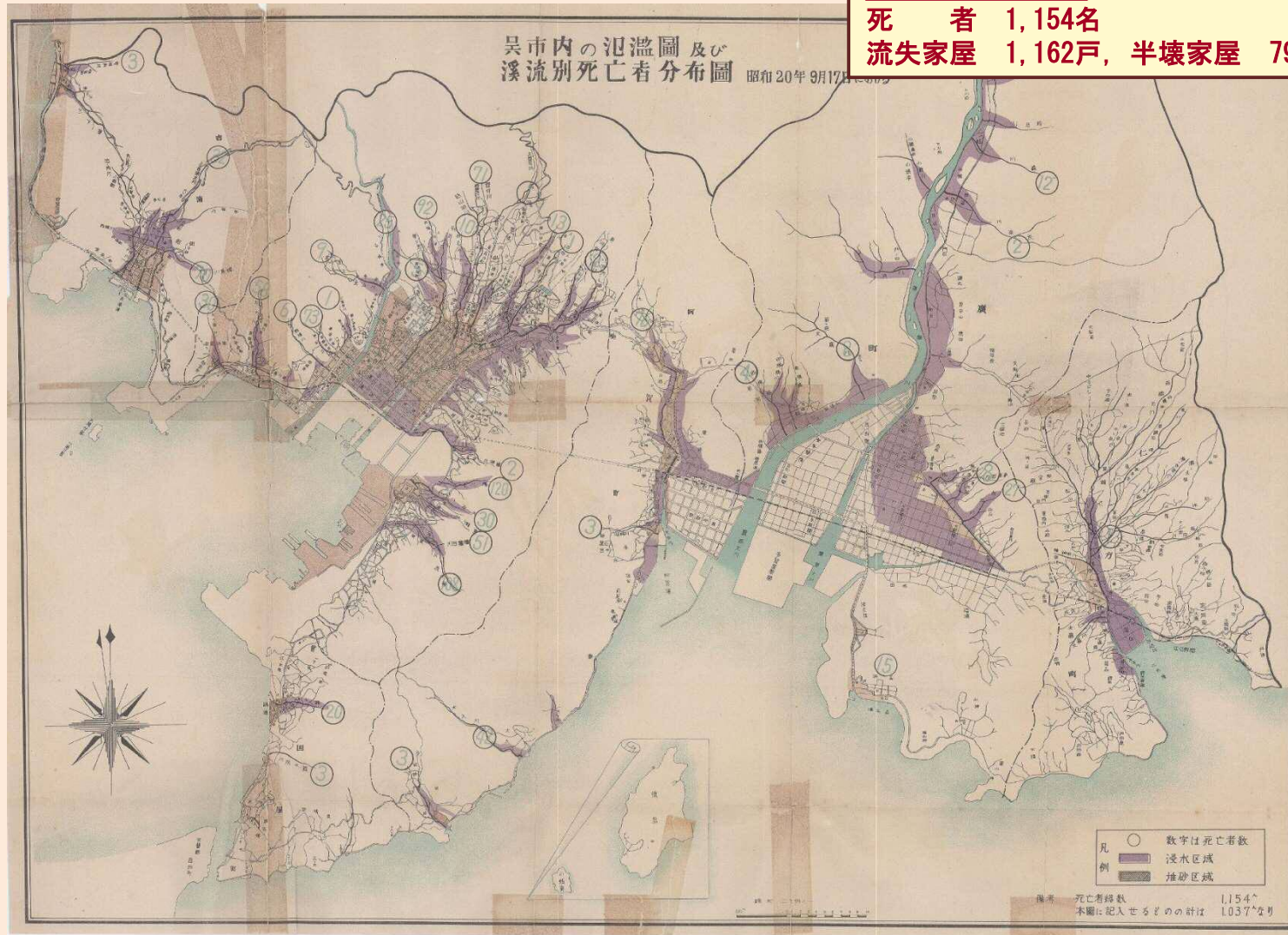
4. 呉駅前の通りより両城方面を望む

提供：呉市産業部海事歴史科学館学芸課、「呉市の水害について 広島県」



【昭和20年9月17日における呉市内の氾濫図及び溪流別死者分布図】

呉市枕崎台風被害 昭和20年9月17日 (1945年)  
死者 1,154名  
流失家屋 1,162戸, 半壊家屋 792戸



提供:「昭和20年9月17日における呉市の水害について」 広島県土木部砂防課より